

胆・膵疾患に対する interventional EUS に関する  
臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

当院において通常の ERCP（十二指腸内視鏡・小腸内視鏡）による胆管・胆嚢・膵管ドレナージが困難なため interventional EUS を試みた症例に対して治療の有効性を評価するための研究になります。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

当院にて ERCP が困難で Interventional EUS を施行した症例を対象とし、治療前後の画像検査、血液検査、カルテ記載内容を確認し、手技成功率、病状改善率、合併症につき検討します。

対象者・期間

2014年4月から2024年3月までに長岡赤十字病院にて ERCP が困難で Interventional EUS を施行した症例を対象とします。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくごお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

**【お問い合わせ先】**

長岡赤十字病院

担当医師：吉川成一

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)